

「フライ・ガールズ」イベントを開催：次世代飛行士の夢を育む

Yokota hosts 'Fly Girls' event; inspires next generation of aviators

March 14, 2024

By Airman 1st Class Alexzandra Gracey
374th Airlift Wing Public Affairs

3月8日、女性史月間恒例の航空イベント「フライ・ガールズ」が開催され、中高生約100人が横田基地のフライトライン周辺に集まった。

第459空輸中隊UH-1Nヘリコプター操縦士のケーシー・ガーディア大尉は、このイベントについて「航空分野における女性の継続的な貢献を祝すもので、コミュニティーの若者を迎えて飛行への情熱を共有できる機会」と説明した。

第374運用群の隊員は、三沢基地と小牧基地の隊員と共に、航空分野におけるこれまでと今の女性の活躍を生徒たちに紹介した。

第374運用支援中隊乗務員飛行装備品技師のレイナ・テラザス一等空兵は、「こうしたイベントは、若い世代にインスピレーションを与える。自分たちの仕事を見てもらえると共に、生徒たちが将来同じような仕事に就きたいかどうかを考えるきっかけになる」と話した。

一日を通して、参加した生徒たちは航空分野のさまざまな仕事について学び、三沢基地第35戦闘航空団のF-16ファイティング・ファルコンなどの航空機を見学した。さらに女性乗組員が中心となって飛行するC-130Jスーパーハーキュリーズ、C-12ヒューロン、またはUH-1Nヘリコプターの機体に搭乗体験した。

日米の航空機乗組員は、次世代を担う生徒たちと一日を過ごし、女性飛行士としての経験や知識などを共有した。

第36空輸中隊司令キラ・コフィー中佐は、「仕事に対する情熱を伝えるために集った。飛行であれ、修理であれ、航空機支援であれ、我々は情熱をもって仕事に臨んでいる。皆に関心を持ってもらえれば嬉しく思う」と語った。

